

学校教育目標  
「自主 協力 継続」

自主 自ら学び、考え、行動する生徒  
協力 協力し、励ましあう生徒  
継続 粘り強く、努力する生徒



学校だより No.13

令和7年1月24日

市川市立第八中学校  
校長 川野辺 修

## 学校評価について

先月、今年度2回目の学校評価アンケートを実施させていただきました。保護者の皆様におかれましては、お忙しい中ご協力いただき、ありがとうございました。

前回に引き続き、多角的に八中の教育活動を分析するため、生徒と教職員にも同じ事柄についての質問をいたしました。下の表が結果となります。

	項目 教職員：働きかけ、生徒：自分自身の実感 保護者：実際の子どもの様子 と読み替え	平均点（左：12月／右：6月）					
		教職員		生徒		保護者	
1	「お互いの良さを認め合う」ような関係づくり	3.7	3.5	3.8	3.7	3.3	3.4
2	自分自身の良さに気づく	3.6	3.5	3.3	3.3	3.0	3.3
3	目標を持って学習したり生活したりする	3.6	3.5	3.3	3.3	2.9	3.2
4	色々なことに興味を持って学習に取り組む	3.3	3.7	3.2	3.2	2.7	3.2
5	個に応じた丁寧な学習指導	3.0	3.7	3.4	3.4	2.8	3.4
6	読書に親しんだり、図書資料を使って調べ学習をする	2.9	2.9	2.8	2.7	2.2	2.9
7	毎日の学習でタブレットを活用	2.4	3.0	2.9	2.9	2.2	2.9
8	運動やスポーツに親しむ	2.9	2.9	3.2	3.3	3.0	3.1
9	望ましい食習慣	3.2	3.2	3.4	3.5	3.1	3.3
10	学校は、保護者や地域の方々と共に、子どもを育てる	3.0	3.7	2.4	2.4	2.9	3.4
11	一人一人のニーズに対応したきめ細やかな支援体制	2.8	3.7	3.4	3.4	2.8	3.3
12	体験活動を取り入れている	3.0	3.5	3.4	3.4	2.9	3.4
13	便りやホームページ等で、学校の様子を伝えている	3.4	3.6	3.4	3.3	3.1	3.4

前回同様の三者比較の分析に加えて今回は、6月との比較をしてこの6ヶ月における本校の教育活動を振り返りました。図書資料の活用については年間を通した八中の課題としてとらえ、これまでとは違った角度からの働きかけが必要と考えております。また11の「細やかな支援体制」等、生徒の満足度は高いものの、大人である教職員や保護者の数値は若干低い項目が散見されます。これらについては『まだまだできることがある』と期待を込めた評価ととら

え、こちらについてもより一層の充実を図っていきたいと思います。

なお自由記述につきましては、早急な対応を要するケースについては速やかに対応し、検討が必要なところは学校体制で対策を練りたいと考えております。ありがたいお言葉や忌憚のないご意見等、ありがとうございました。

今号での紹介は平均点の比較のみとなっておりますが、データが整い次第、

ホームページにおいて市内平均との比較など、より細かなデータを掲載いたしますので、そちらもご参照ください。

今年度の学校評価アンケートは今回が最後となりますが、本校の教育活動についてご質問やご相談等がございましたら、学校までご連絡をいただければと思います。



## 第四回学校運営協議会のご報告

1月10日（金）に第四回学校運営協議会を校長室で行いました。学校運営協議会の主な機能の中に『教職員の任用に関して意見を述べるができる』また、『学校関係者評価を行う』といった事柄が含まれておりますので、これらのことを踏まえて今回は開催させていただきました。

今回の主な柱は①後期学校評価について（報告）②教職員の任用に関する意見について（協議）でした。①については左記の状況を学校より報告し、詳しい分析やご意見等をいただきました。②についてはこれまで協議してきたことを踏まえて、委員の方々よりご意見をいただき内容をまとめた次第です。なお、委員の方々による学校関係者評価については、次回第五回で実際に行っていただく予定です。

次回第五回の協議会は2月27日（木）15時～を予定しており、今回は今年度最終回となります。

※本協議会は傍聴が可能です。ご希望の方は、学校までご連絡ください。



八中のホームページでは日々の様子をブログで紹介しております。  
右のQRコードを読み取り、ご覧ください。

<https://ichikawa-school.ed.jp/dai8-chu/>

